

**新型コロナウイルス感染症対策分科会（第14回 持ち回り開催）
議事概要**

1 日時

令和2年11月9日（月）

2 出席者

分科会長	尾身 茂	独立行政法人地域医療機能推進機構理事長
分科会長代理	脇田 隆字	国立感染症研究所所長
構成員	石川 晴巳	ヘルスケアコミュニケーションプランナー
	石田 昭浩	日本労働組合総連合会副事務局長
	今村 顕史	東京都立駒込病院感染症センター長、感染症科部長
	太田 圭洋	日本医療法人協会副会長
	大竹 文雄	大阪大学大学院経済学研究科教授
	岡部 信彦	川崎市健康安全研究所長
	押谷 仁	東北大学大学院医学系研究科微生物学分野教授
	釜范 敏	公益社団法人日本医師会常任理事
	河本 宏子	ANA総合研究所会長
	小林慶一郎	公益財団法人東京財団政策研究所研究主幹
	清古 愛弓	全国保健所長会副会長
	舘田 一博	東邦大学微生物・感染症学講座教授
	中山ひとみ	霞ヶ関総合法律事務所弁護士
	平井 伸治	鳥取県知事
	南 砂	読売新聞東京本社常務取締役 調査研究本部長
	武藤 香織	東京大学医科学研究所公共政策研究分野教授

3 議事概要

＜資料 「緊急提言 最近の感染状況を踏まえた、より一層の対策強化について（案）」
についての意見＞

○脇田構成員 1ページ「はじめに」の3行目「社会の中で国民や医療現場、保健所、事業者等における取り組みが積み重ねられ、」の後に「また、治療法の標準化などもあり」という文言を追記すべき。

また、4行目「致死率や重症化率がこれまで抑えられてきたが、医療提供体制の逼迫を防ぐためにも」という文言について、「～の逼迫を防ぐ」を削除し、「医療提供体制」の後に、「～への負荷を過大にしない」を追記し、「致死率や重症化率

がこれまで抑えられてきたが、医療提供体制への負荷を過大にしないためにも」という表現にするべき。

4 ページ「アクションNo5」の具体的アクション（1）の2行目「このことから、」の後の①、②の表現は、「①地方衛生研究所を通じて国立感染症研究所に検体を着実に送付すること。」、「②地方衛生研究所で遺伝子配列の情報を解析したうえで国立感染症研究所に結果を共有すること。」とすべき。

○河本構成員 本緊急提言案の内容・趣旨について異存はないが、表現上、よりわかりやすくするため3か所の修文を提案する。

1点目に、1 ページ「はじめに」の5行目の最後、「可及的速やかに」の後に、何を「減少報告に向かわせる」のかを明確にするため、「感染を（あるいは、感染状況を）」という文言を追記すべき。

2点目に、3 ページ「アクションNo3」の具体的アクション（2）「冬に向けて、換気の問題をはじめ寒冷地における感染防止策のために、例えば特に飲食店などでは二酸化炭素濃度をモニターするなど、具体的な指針を示すこと」の部分で、二酸化炭素濃度をモニターするのは「飲食店など」であり、具体的な指針を示すのは「政府」であると考えて、文章を「冬に向けて、換気の問題をはじめとした寒冷地における感染防止策のために、例えば特に飲食店などが二酸化炭素濃度をモニターする際の指針などを、政府は具体的に示すこと」と修正すべき。

3点目に、6 ページ「おわりに」の2「以上の5つのアクションを実施しても、第5回分科会（令和2年8月7日）で提言されたステージⅢ相当以上と国や自治体によって判断された場合には、社会経済活動に一定の制約を求めるような強い対策を行う必要があることから、国民が一丸となって対策を進めていく必要がある」について、「5つのアクションを実施しても、それが奏功せず状況が悪化してしまう可能性もあることから、そうならないようにするためにもXXXX（対策）を進めていく必要がある」となっている文章構成を整理し、「第5回分科会（令和2年8月7日）で提言されたステージⅢ相当以上と国や自治体によって判断された場合には、社会経済活動に一定の制約を求めるような強い対策を行う必要があることから、そうした事態を回避するためにも、国民が一丸となって本提言にて掲げた5つのアクションを進めていく必要がある」とすべき。

○武藤構成員 5点の修正を提案する。

1点目に、3 ページ「アクションNo2」の「背景」の2行目、「しかし、最近の感染状況を見ると、こうしたメッセージが人々の実際の行動変容につながるようには必ずしも十分には伝わってこなかった可能性がある」の「行動変容」の部分について、行動変容だけではなく行動変容の「維持」についても追記すべき。

2点目に、「アクションNo2」の「具体的アクション」(1)の3行目、「その際には、動画投稿サイト等のSNS」の他、これまで利用されていない媒体も活用するよう文言を追記すべき。

3点目に、「アクションNo2」の「具体的アクション」(2)「メッセージの受け手の気持ちや受け止め方を理解した上で情報発信し、その効果や影響を確認すること」の後に、「次の発信に役立てること」という文言を追記すべき。

4点目に、「アクションNo5」の「遺伝子」を「ゲノム」と修正すべき。

5点目に、6ページ「おわりに」1に挙げた3点のうち、「保健所機能及び医療提供体制の強化」を一番最初に記載すべき。

(以上の意見を踏まえ、尾身分科会長により緊急提言の文言が確定された。)